

教科名	音 楽	科目名	ソルフェージュ（2年次）【2単位】	
授業形態	視唱、視奏、聴音の実技演習が中心、必要に応じて講義形式で行う			
選んでほしい生徒	音楽Ⅰを履修した者で、音楽での受験を考えている場合は、2・3年次と継続履修することが望ましい。音や音楽の要素を正しくとらえることに関心があり、意欲的に学ぶことができる。			
科目の目標	音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う。			
身に付けてほしい学力	楽譜を見て様々な情報を読み取り歌唱、器楽演奏ができる能力や、音や音楽を正しく聴き取り記譜する能力を高め、四年制音楽大学、短大及び音楽系専門学校受験に対応できる基礎的な能力の習得を目指す。また、学んだことを豊かな表現活動に生かすことができる。			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	<p>【1学期】</p> 音名、音階、拍子 二度音程、三度音程 視唱、視奏、聴音		<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の基礎的な仕組みについて学習する。 ・初歩的な視唱、視奏、聴音を通して、読譜能力の基礎を固める。 	
	<p>【2学期】</p> 四度音程、五度音程、 リズムアンサンブル 視唱、視奏、聴音		<ul style="list-style-type: none"> ・新曲視唱、視奏の能力を高める。 ・アンサンブル演習を取り入れ、実践的な能力を高める。 	
	<p>【3学期】</p> 六度音程、七度音程 三連符、声楽アンサンブル 視唱、視奏、聴音、1年間のまとめ		<ul style="list-style-type: none"> ・さらに難度の高い課題に取り組み、総合的なソルフェージュ能力の育成を図る。 ・1年間の学習のまとめをする。 	
評価の観点・評価方法	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
	・音楽を愛好し、音楽を形づくっている要素に関心を持ち、意欲的・主体的に学習に取り組もうとする。	・音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、それらの働きを感受することで、意図をもって音楽表現を工夫することができる。	・創意工夫を生かした音楽性豊かな表現をするための、基礎的な記譜や読譜や演奏の技術を身に付け、創造的に表している。	・音楽の諸要素を知覚・感受し、正しくとらえられているかを自己評価や相互評価することで、創造的に味わっている。
	上記の観点を踏まえ、実技試験、筆記試験、提出物、授業態度等を総合的に判断して評価する。			
学習のアドバイス	1 実技演習が中心であるため、休まず授業に出席して能力の向上に努めたい。 2 自己評価や相互評価を積極的に行い言葉にして伝えることで、感性を高めたい。 3 定期考査では実技と筆記による試験を実施するため、学習した内容をまとめておくこと。			
教材費	864円（コールユーブンゲン 大阪開成館発行）、各自で五線符を準備すること。			
その他	1 何かの検定につながることはない。 2 音楽大学受験のための学習が主であるが、それ以外の生徒の選択も可能である。			